

## 北九州の歴史や文化を学びました

2025年2月24日～26日にかけて、社会科教育学ゼミでは、北九州地方へフィールドワークに出かけました。このフィールドワークでは、福岡県、長崎県、大分県などを巡り、北九州地方の歴史や文化を学ぶことができました。

24日は太宰府天満宮と九州国立博物館を見学しました。宮司の方から説明を聞き、天満宮の歴史を学びました。現在、御本殿が改修中で見ることはできませんでしたが、そのかわり仮殿で参拝をすることができました。この仮殿は、大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーも務める藤本壮介氏のデザイン・設計によるもので、仮殿の屋根には木が植えられ、とても幻想的な雰囲気を感じることができました。

九州国立博物館では、古代から近代にかけての北九州の歴史や特徴的な文化を見て学ぶことができました。特に元寇における元軍の軍船の錨や、キリスト教を禁止した際に用いられた踏み絵などを見学し、北九州の歴史の特徴を身近に感じることができました。

25日はハウステンボスを見学しました。オランダ政府からも認められている建物を間近に見ることで、長崎と外国とのつながりを改めて感じることができました。26日は博多の街を散策し、もつ鍋や博多ラーメンなどの食文化にも触れることができました。

事前学習をゼミで行うことで、見学をより充実したものとすることができました。フィールドワークで見たり感じたりしたことを忘れずに、ゼミ生の皆さんが学校現場に立った時に教材として活かすことができるようにしていきたいと思います。

